

岡山県金融経済月報

(2020年10月)

1. 概況

県内景気は、新型コロナウイルス感染症の影響による弱さが続いているものの、持ち直しの動きがみられている。

最終需要をみると、個人消費は、弱めの状態が続いているものの、持ち直しの動きがみられている。設備投資は、幾分減少しているが、高水準を維持している。住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。公共投資は、高水準で推移している。輸出は、低水準が続いている。

こうしたもとで、県内主要製造業の生産は、低めの水準ながら、持ち直しの動きがみられている。

雇用・所得環境をみると、労働需給は弱めの動きがみられているほか、雇用者所得も下押し圧力が強い状態にある。

2. 実体経済

(1) 個人消費

個人消費は、感染症の影響から弱めの状態が続いているものの、持ち直しの動きがみられている。

百貨店・スーパー売上高は、持ち直しの動きがみられている。乗用車販売は、持ち直しの兆しがみられている。家電販売は、持ち直している。この間、主要観光地への入り込みは、前年を大きく下回った。

(2) 設備投資

県内企業の設備投資は、幾分減少しているが、高水準を維持している。

20/9月短観調査における設備投資額は、20年度は、製造業、非製造業ともに前年度から幾分減少する計画となっている。

この間、着工建築物床面積(非居住用<6月~8月>)は、前年を下回った。

(3) 住宅投資

住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。

8月の県内新設住宅着工戸数をみると、貸家系は前年を下回ったものの、持家系が前年を上回ったため、全体では前年を上回った。

(4) 公共投資

公共投資は、高水準で推移している。

発注の動きを示す県内公共工事保証請負額をみると、8月は、「市町村」や「国」を中心に前年を下回った。

(5) 輸 出

輸出は、低水準が続いている。

8月の県内輸出（通関実績）をみると、自動車や石油製品を中心に前年を下回った。

(6) 生 産

県内主要製造業の生産は、低めの水準ながら、持ち直しの動きがみられている。

7月の県内鉱工業生産指数（直近計数）の季調済前月比は、2か月ぶりに低下した。

主 要 製 造 業 の 生 産 動 向

業 種	足 も と の 動 向
自 動 車	持ち直しつつある。
鉄 鋼	持ち直しの動きがみられている。
化 学	低めの生産水準となっている。
石油・石炭	弱めの動きとなっている。
造 船	操業度を引き下げている。
織 維	弱めの動きとなっている。
電気機械	持ち直しつつある。
窯業・土石	底打ち感がみられている。
農 機 具	低めの生産水準となっている。
工作機械	減少している。

(7) 雇用・所得

労働需給は引き締まった状態が続いているが、感染症の影響による弱めの動きがみられている。雇用者所得も感染症による下押し圧力が強い状態にある。

労働需給面をみると、7月の有効求人倍率は、高水準にあるが、感染症の影響により前月より低下した。7月の所定外労働時間は、前年を下回った。

雇用面をみると、7月の常用労働者数は、前年を下回った。7月の解雇者数は前年を上回ったが、雇用保険受給者数は、前年を下回った。

賃金面をみると、7月の一人当たり現金給与総額は、前年を下回った。

(8) 物 価

8月の岡山市消費者物価指数（2015年基準、生鮮食品を除くベース）は、諸雑費や教養娯楽を中心に前年を下回った。

(9) 企業倒産

8月の県内企業倒産（東京商工リサーチ調べ、負債総額10百万円以上）をみると、倒産件数は前年を上回った。負債総額は前年を下回った。

3. 金 融

(1) 実質預金

8月の県内実質預金をみると、全体では前年を上回った。

(2) 貸 出

8月の県内貸出をみると、全体では前年を上回った。

(3) 貸出約定平均金利

8月の新規貸出約定平均金利（総合ベース）は、前月比上昇した。ストック金利(同)は、前月比低下した。

以 上

内容についてのご照会は下記までお願いします。
〒 700-8707 岡山市北区丸の内1-6-1
日本銀行岡山支店総務課 TEL 086-227-5111(代表)
FAX 086-227-6350
ホームページアドレス <https://www3.boj.or.jp/okayama/>



知るほど岡山
はこちら！！

